

高次脳機能障害のある方の家族が考えること ～初めて向き合う高次脳機能障害～

脳卒中・脳外傷・脳腫瘍・低酸素脳症・感染症等により、脳に損傷を負った事で現れる高次脳機能障害。周囲の人が気づき難い後遺症であり、当事者への理解と適切な支援を受けられることは、家族の不安や心配事の軽減に繋がります。

2022年7月10日(日) 13:30～16:30 受付開始は13:15

都立多摩図書館セミナールーム 東京都国分寺市泉町 2-2-26 電話：042-359-4020
裏面に地図があります 最寄り駅：JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口徒歩7分
有料Pは台数制限有り、できるだけ公共交通機関のご利用を

参加費：無料

プログラム

前半-1 『高次脳機能障害に関する基本的知識の整理』

渡邊 修 氏 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授
同大学附属第三病院リハビリテーション科診療部長

高次脳機能障害についての基本的な理解を深め、退院に向けた準備や日常生活での適切な接し方、回復段階に適した対応と目標の捉え方について、臨床に基づいたお話を伺います。

前半-2 『北多摩西部地域の高次脳障害支援体制』

植村 修 氏 村山医療センター リハビリテーションセンター長

高次脳機能障害となった方の生活を支えるリハビリテーションと北多摩西部地域の現状、及び各種制度の利用申請時に医師へ伝えるポイントや支援の受け方についてお話を伺います。

後半 Talking Time

渡邊先生・植村先生はじめ当会に関わるリハビリテーション専門医と作業療法士が、会場の皆さまや『りんく』のメンバーの疑問について一緒に考えます。

定員：55名(先着順) 対象者：当事者・家族・医療従事者・福祉従事者(障害者福祉、高齢者福祉)など

お申込期間：6月3日(金) 10:00～6月30日(土) 17:00

事前申込みが必要です 裏面をご確認ください

共催

(独) 国立病院機構 村山医療センター

東京都北多摩西部保健医療圏 地域リハビリテーション支援センター

【立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市】 murayama-hosp.jp/rrsc/index.html



高次脳機能障がい者の家族の集い りんく

link-2013.sakura.ne.jp



定員：55名（先着順）対象：当事者・家族・医療従事者・福祉従事者（障害者福祉、高齢者福祉）等

お申込期間：6月3日（金）10：00～6月30日（土）17：00

申込者全員のご氏名（ふりがな）・ご住所・連絡先・お立場・勤務先・車いすの利用の有無をお知らせください。

E-mail：link.kurakata@gmail.com（担当：蔵方）

E-mail 送信先



メールを利用していない方 ⇒ 電話：090-2167-5117（担当：高橋）

電話対応時間：10：00～15：00 不在時は暫く経ってからお掛け直してください

----- 参加時のお願い -----

食べ物は禁止です



飲料水の持ち込みについて…ペットボトル等、ふた付の容器に入ったものをご用意ください。セミナールーム内のお席で召し上がれます。

コロナ感染対策について…当日は検温・マスクの着用・手指消毒にご協力をお願い致します。



JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅から都立多摩図書館への徒歩案内



③ 左側に JR 武蔵野線のガードが見えたら左折してくぐります

④ その先の府中街道を横断したら右方向へ進みます



⑤ 一つ目の交差点を横断したら左折して道なりに進みます

⑥ 230m程進んだ所の交差点を横断したら右方向へ進みます

⑦ 道なりに 140m程進むと左手に都立多摩図書館があります

アクセス



① JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅の改札（一か所のみ）を出て左（南口）へ進みます

② 駅の敷地を出た所を左に曲がり道なりに進みます

